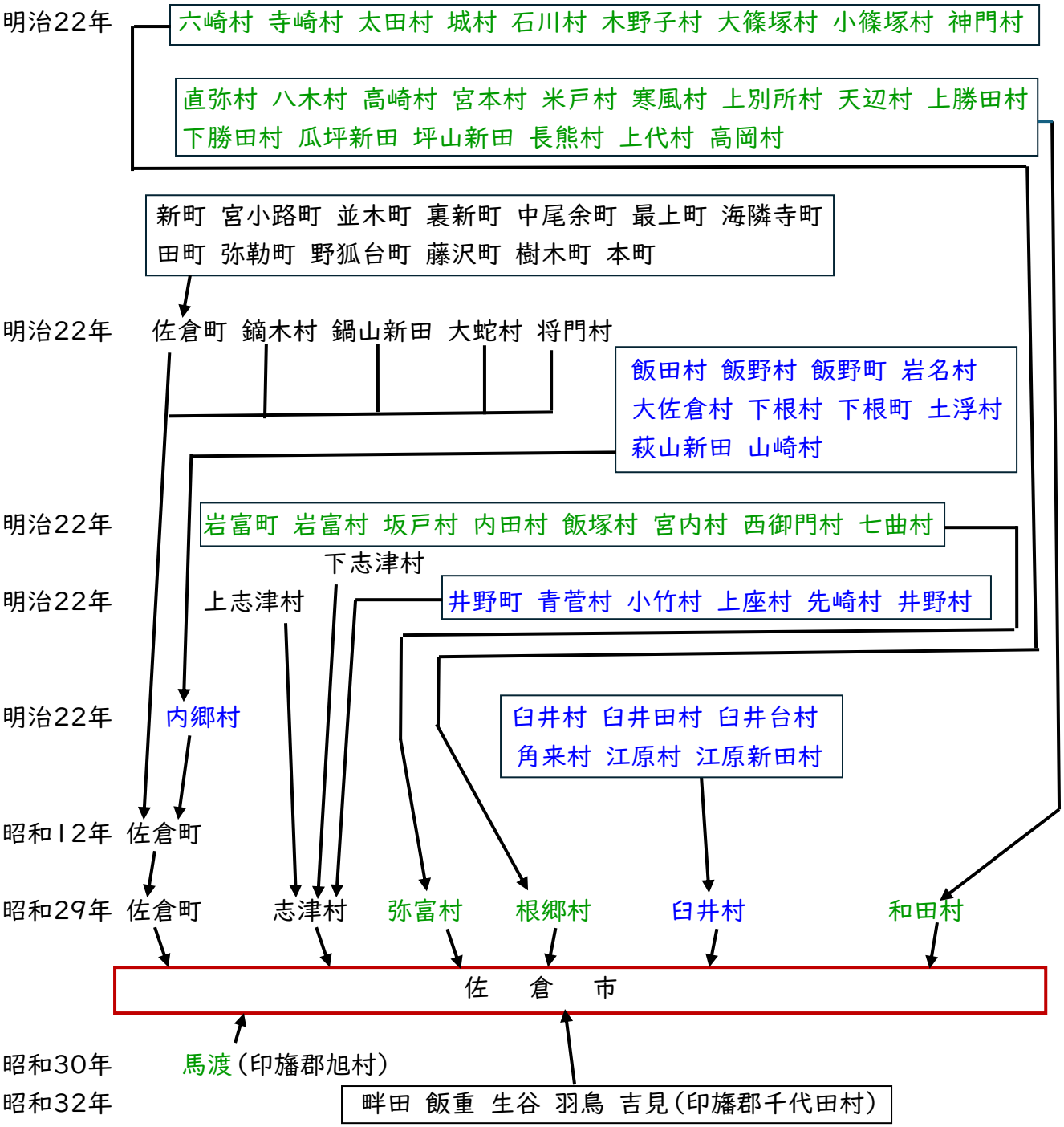
2026年10月22日
T.Kobayashi

佐倉の町はこんな町
＜佐倉市はこうして生まれた＞

現在の佐倉市には、住居表示に使われる 100 余の町がある。これらの町の名は、殆どが明治22年の町村制施行の時に名をあげたもので、それ以前からこの地に存在していた地名でもある。
いくつもの村が集まってできた佐倉市は、昔の村の名前が町名や字地名として残っている。
この他に、印旛沼の干拓によって生まれた町もある。元の地名や、地名が持っている深い意味が伝承されるように、また町の成り立ちや前身がわかるように、残しておくことは良いことだと思う。
＊註　黒字＝佐倉市中部　青字＝佐倉市北部　緑字＝佐倉市南部



佐倉市は東西南北に広がっており、それぞれの地域に特徴がある。
京成本線の北側は、印旛沼の南岸に迫り出した台地に、大小の古城の跡が残っている。また印旛沼の干拓事業で生まれた新しい土地が数多く存在しているのも特徴である。
京成本線の南側で、JR総武本線との間に挟まれた地域は、鹿島川以東は佐倉城の城下町、西側は丘陵地帯で、大小の古城の跡が残っている。
また、総武本線より南側は、海抜 30～40mの山が連なり、細かに切り込まれた谷津地形を利した農業地帯になっている。
「佐倉」という地名の起こりとなった「麻倉（麻を貯蔵する倉庫）」を冠としたゴルフコース（麻倉 GC）は、この地域にある。



城下町と武家屋敷ばかりが有名になってしまった佐倉市だが、ちょっと視点を広げて見ると様々なものが見えてくる。
佐倉は面白い町である。

以上

＊続編：佐倉市の地名の歴史・由来を探る その 1：佐倉市中部の地名
http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/sakura01.pdf
佐倉市の地名の歴史・由来を探る その 2：佐倉市北部の地名
http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/sakura02.pdf
佐倉市の地名の歴史・由来を探る その 3：佐倉市南部の地名
http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/sakura03.pdf